

# 山行報告書

作成日 2011年3月3日

山行名	御在所岳		山域	鈴鹿	
期間	2011/1/30(日)		目的	アイス	
入山地	御在所岳	下山地	御在所岳	形態	登攀
日程	行動記録: (凡例: 鉄道++ 車== 徒歩--- 登攀~~~)				
1/30(日)	岡崎市民病院PKG(5:00) == 鳥居道山キャンプ場ゲート(7:10) --- αルンゼ取り口(9:30) ~~~ αルンゼ終了(13:40) --- 山頂付近(14:10~15:00) --- 鳥居道山キャンプ場ゲート(16:40) == 岡崎市民病院PKG(19:00)				



**日誌:**  
 岡崎市民病院に5:00集合して、豊田東ICから湾岸道で四日市ICまで行く。高速を降りてからすぐにコンビニに入りそれぞれ朝食や行動食を買い鳥居道山キャンプ場ゲートへ向かう。

7:10ゲートに到着して準備をし、藤内小屋を目指す。途中でゲートを越えて車が入ってきたが、たぶん地元の人山岳会かガイドだろうとのこと。

8:10藤内小屋に到着。トイレ休憩をすまし、タロウに挨拶をして取り口を目指す。  
 αルンゼ取り口に9:30到着。ここからは真っ白な雪の中をYさんのラッセルで進む。

程よい所で登攀の準備をする。ハーネス・カラビナ・メットなど色々あり手間取る。特に風が強くスタックバッグや帽子が飛ばされる。さらには、ザックまで飛ばされそうになる。

準備が終了し、Yちゃんトップに行く。全部で3ピッチ。最初は傾斜も緩く大したことはないと思ったが意外に握力になる。2ピッチ目はさらに傾斜が強くて握力が保たないのではと不安になったが、今度は少し慣れたのか余裕があった。  
 しかし、3ピッチ目はまさしく滝が凍った氷瀑である。4mちよつとだと思いがとても登れる気がしなかった。

何とか登りかけたがあと2~3歩の最後の部分が難しい。グズグズしている間にアキレス腱は痛くなるし、腕もバンバンでアックスが振れない。あつと思ったら、ズルッと落ちていた。もう駄目だ。下に降りてもらおう。

しばらく休憩し、最後の挑戦だ。これで駄目だったら、次の挑戦はできない。精も根も尽き果て動けなくなるだろう。  
 「駄目駄目、足をまっすぐに！」  
 何度も大きな声が聞こえる。必死に足をまっすぐにしようともがくのだが体が離れていないのでまっすぐ蹴り込めない。それでも何とか最後の2~3歩をこなし無事上がることができたが、息も絶え絶えでその場でへたり込む。

後は尾根に上がり裏道に合流して終わり。  
 お昼は山頂のお店で持参の屋敷プラスお店のうどんが、暖かくておいしかったです。

**感想:**  
 山を初めて一年四ヶ月、山岳会に入って一年。いろいろな経験をさせていただきました。  
 特に、南山での岩登りは自分の中では大きな変化がありました。  
 この経験のおかげで単独行でテント泊の大キレットもやり遂げることができました。もちろん、前進と撤退の押し問答の繰り返しでした。しかし、これ以上は無理という感覚が無く、若干びりながらも冷静に縦走ができたのはこれらの経験があったからです。  
 こんなすごい経験ができたのも、山岳会で岩登りの練習がたくさんできたおかげです。  
 さらに今回はアイスの経験ができ、これも自分なりに色々なところで役立つだろうと思います。  
 今後ともよろしく願います。